

「十三」

令和2年度 第4号

運動会ができる喜び

教頭 濱井 孝久

9月4日（金）に運動会が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大・防止の観点から、種目数を削減し、規模を縮小しての実施となりました。また、密を避けるため、来賓をはじめ、地区の皆様の招待を見送り、保護者のみの参加とさせていただきます。毎年、運動会を楽しみにしておられた方々に対しては大変申し訳なく思っています。



さて、運動会当日は、少し雨が心配されましたが、何より運動会ができるという喜びを生徒も教職員も感じていました。新型コロナウイルスの影響で、4月からいくつもの行事を中止せざるを得ませんでした。「運動会の100m走や学年種目等で友達と全力で競い合うことができる」こんな普通のことがこんなにも貴重なことだったのかと感じました。午前中は、運動会ができる喜びを感じながら、どの生徒も生き生きと競技に参加したり係活動に取り組んだりしていました。

午後から「応援演舞」です。少し雨が降る中、3年生を中心とした応援が始まりました。十三中はどの団も踊りがたいへん上手です。1年生も先輩同様にキビキビとした踊りを披露していたことに驚きました。また、どの団も演技中の笑顔がすごく素敵で印象的でした。

5分間の応援演舞を完成するため、3年生を中心として、工夫を凝らしながら、練習を積み重ねていました。笑顔で一生懸命に踊る生徒を見たとき、改めて子どもの成長には学校行事が欠かせないものだと感じました。行事を通して大きく成長した一人一人の生徒の姿を見ることができ、大変うれしく思いました。

10月24日（土）は学校祭です。状況を見ながらになりますが、合唱や総合的な学習の時間で学んだ発表などを予定しています。学校行事を通したさらなる子どもたちの成長を楽しみにしていただきたいと思います

◆ ◆ ◆ 運動会を振り返って ◆ ◆ ◆

運動会を終えた生徒のアンケート結果から、運動会を振り返ります。

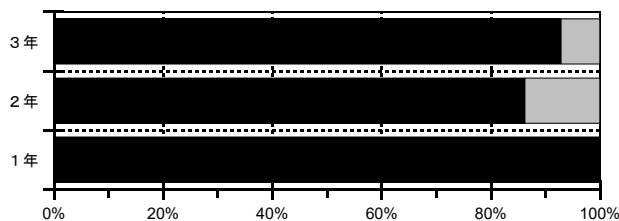
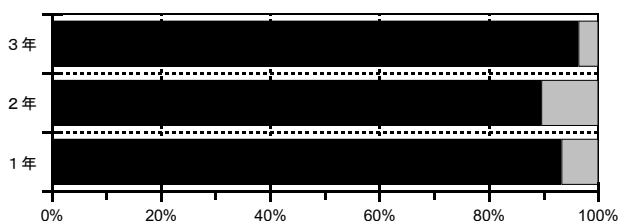
○「仲間と協力」して、運動会に楽しく参加することができた！

運動会を振り返ってのアンケートでは、運動会に参加した全ての生徒が、「運動会に楽しく参加することができた」と回答しました。また、全ての生徒が「仲間と協力して活動できた」と回答しています。運動会を通して、仲間と協力したり、応援し合ったりする喜びや楽しさを味わうことができたのではないのでしょうか。



1 運動会に楽しく参加することができたか。

2 仲間と協力して活動することができたか。

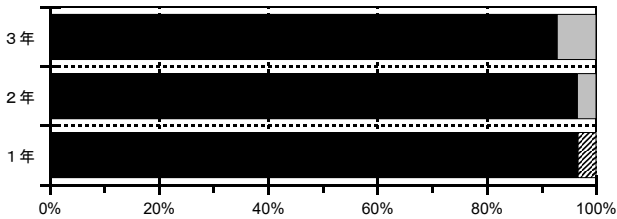


○生徒一人一人が「新しい運動会」を成功させるために全力で取り組んだ運動会！

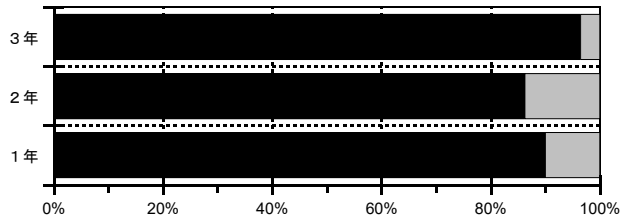
今までとは違い、新しいスタイルの運動会を成功させるため、生徒一人一人が限られた時間の中で、アイデアを出し合いながら練習や運動会当日に臨みました。種目数が減りましたが、生徒だけでなく、観客のみなさんにも楽しんでもらえるようにと、工夫をこらしました。自分たちの手で一から創り上げた運動会だからこそ、全てにおいて全力で取り組み、充実感や達成感を味わうことができたのではないのでしょうか。そして、先輩や後輩の思いを互いに汲み取り、笑顔で取り組んでいました。



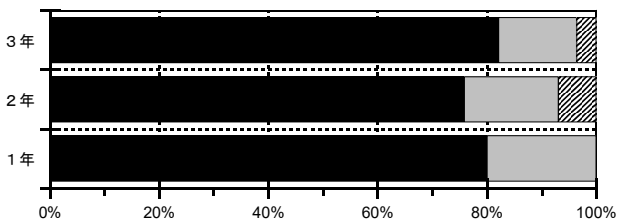
3 全力で競技種目や係活動に取り組むことができたか。



4 自分の役割を意識して、運動会前の練習や当日の準備、後始末に進んで取り組むことができたか。



5 運動会を通して、友達のよいところや頑張っているところを発見することができたか。



☆運動会スナップ写真



※ 十三中学校HPにも写真が掲載されています。

～お知らせ～

10月1日より12月31日まで、2学年主任・担任の小山千春が富山大学での内地留学研修に入ります。この間、学年主任として教務主任の早瀬勝、担任として副担任の沼田昌幸がそれぞれ代行します。